

強者の戦略

【2017年度 東大地理 第2問】

世界の水資源と環境問題に関する以下の設問A～Bに答えなさい。解答は、解答用紙の(ロ)欄を用い、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問A

表2-1は、各国の水資源の状況を示している。この表で、年降水総量は年平均降水量に国土面積を乗じたもの、水資源量はそれぞれの国内で利用することができる再生可能な水資源の量(表層水と浅層地下水の合計)、水使用量は実際に使用された水の量を示している。この表を見て、以下の問いに答えなさい。

- (1) ア～エは、オーストラリア、カナダ、クウェート、マレーシアのいずれかである。それぞれの国名を、ア～エのように答えなさい。
- (2) エジプトでは、水資源量が年降水総量を上回っている。このような現象が起こる理由を1行で述べなさい。
- (3) エチオピアとエジプトの間には水資源をめぐる対立が続いている。そうした対立には、エチオピアの水資源の特徴が背景となっている。そうしたエチオピアの水資源の特徴を自然と社会の両面から2行以内で述べなさい。
- (4) 日本のような国では、この表に示されている水使用量よりも多くの水資源を間接的に利用しているのではないかという指摘がある。それはどのような考えか。以下の語句をすべて使用して、2行以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

自給率 穀物 家畜

表2-1

国	年平均降水量 (mm/年)	年降水総量 (10億 m ³ /年)	水資源量 (10億 m ³ /年)	1人あたり 水資源量 (m ³ /年)	1人あたり 水使用量 (m ³ /年)
ア	534	4,134	492	20,527	824
イ	537	5,362	2,902	80,746	1,113
ウ	2,875	951	580	19,122	419
日本	1,668	630	430	3,397	641
エチオピア	848	936	122	1,227	79
エジプト	51	51	58	637	911
エ	121	2	0	5	447

FAO: AQUASTAT(2016)による。年次は国により異なる。

強者の戦略

設問B

大気中に漂う直径2.5ミクロン以下の微粒子をPM2.5と呼ぶ。人為的に放出されたPM2.5のうちのあるものは、肺の奥深くまで達して健康をむしろむしばむので、大きな被害を引き起こす原因として疑われている。

- (1) 表2-2は、2012年にエネルギー供給量が世界の上位5位までの国について、それぞれ、2002年と2012年時点でのエネルギー供給の構成を示している。これらの国のうちA国とB国では、近年、PM2.5の問題が深刻化しつつある。A国とB国の国名を、A-O、B-Xのように答えなさい。
- (2) A国とB国に共通して、PM2.5の増加をもたらしていると考えられる原因とその社会的背景を、あわせて2行以内で述べなさい。
- (3) 地球上の人口密度が希薄な地域でも、PM2.5を含む微粒子が大量に発生する場合がある。そうした現象を引き起こす原因の例を1つ挙げなさい。

表2-2

(石油換算：百万トン)

国	石炭	石油	天然ガス	その他
A	707	241	32	248
	1,969	464	121	341
アメリカ合衆国	542	900	537	311
	425	771	596	349
B	178	119	23	219
	354	177	49	208
ロシア	107	128	326	57
	133	169	387	67
日本	100	256	66	95
	112	210	105	25

上段：2002年 下段：2012年

その他には、水力、原子力、地熱等を含む。

IEA：Energy Balances 等による。

強者の戦略

熱帯かと思わせるほどの蒸し暑さですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。唐突ですが、7月9日に受験した英検準1級の二次試験の結果が返ってきました。残念ながら不合格でした。合格点が512点で、私の点数は489点でした(GP-1)。ちょっとなめすぎました。対策本は購入していたのですが前日ぐらまで大して読まず、暗記しようと思っていた例文集もあんまりできませんでした。でも、「当日の自分はきっと研ぎ澄まされているに違いない、きっとできる」と思い込んでいました。

当日、関西学院大学に入り、受付で証明書を提出すると、携帯電話を首から掛ける用の小袋をもらいました。なかなか新鮮。そして面接教室の前で待機させられるのですが、ここでびっくり。みんな「May I come in?」とか、気の利いた挨拶をしながら入室していくのです。別の部屋では、そこに「Excuse me,…」など付け足しています。「Hello」ぐらいでいいだろうと思っていた自分には衝撃でした。ただ、朝から腹痛に悩まされ、あまり睡眠が取れなかった状態だったので、待っている間に眠ってしまいました。アルバイトの人に肩を叩かれて、「前の人が入室されたので、一つ横の席に移動してもらえますか?」と声を掛けられて目覚める始末。

そしてついに入室です。見よう見まねで「May I come in?」と言いながら入室しました。とりあえず座って面接官の話を聞くのですが、いきなり何を聞かれているのか分かりません。何か、「佐々木です」って言っていたようなので、「私はケンジ ミナミだ」と自己紹介することにしました。次に、「How about today?」と言ったように思ったので、「朝から少しお腹が痛いです」と言うと、これまた何を言われているか分かりませんが、「よっぽど悪かったら面接の後に病院に行ってください」的なことを言われました。「日曜日なのに無理でしょ」と心の中で突っ込んでおきました。

ここからは4コマの絵のナレーションです。会社のボスが年々収益が下がってきている資料を見て、社員の無駄な残業とかを減らしていく決断をします。そうして社員は定時で帰るようになりましたが、仕事が捗らなくなり、仕事のスケジュールに遅れるようになってしまい、またボスが落胆するようになります、といった骨子の4コマでした。1分でそこまで把握できましたが、うまく英語でまとめられずしどろもどろになりました。この後の問いも「wasteful manage」の意味が分からず、「Please tell me again」と言って、同じ質問を2回言ってもらいましたが、結局何も話せませんでした。「今回は分からないので、次の質問に移ってください」と言おうとしましたが、テンパってこちらも英語で変換できず沈黙。1問まるまる落としました。

まあ、何が言いたいかという、真面目に勉強しないと試験に落ちますよ、ということです。当たり前のことですが、「運が良かったら合格する」状態から「何度受けても合格する」ぐらまで徹底して勉強してください。

それでは2017年度東京大学の第2問の問題を解いてもらおうと思います。頑張ってください。